

あいち農産物生産流通レポート

平成26年3月号

情報サロン		
・漬物の日本一を決めるT-1グランプリ	(東京事務所)	1
地域トピックス		
・東海フラワーショウ2014が開催されました	(知多農林水産事務所)	3
東日本情報		
・「農業はチャンスだらけの成長産業」と題した研修会が行われました	(東京事務所)	4
西日本情報		
・平成25年度愛知県いちご品評会が開催されました	(園芸農産課)	6
フラワーページ		
・第63回関東東海花の展覧会の品評会における出品の概要について	(農研機構花き研究所 市村一雄)	8
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		10
・名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し		11
花 き		
・切花・鉢花の3月の見通し(県内市場)		23
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2013年12月).....		27
関連指数	28

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

漬物の日本一を決める T-1 グランプリ

漬物日本一を決める T-1 グランプリの決勝大会が 2 月 16 日（日）に池袋サンシャインシティで行われました。年々開催規模を拡大して行われており、今年は個人の部で 770 作品の応募があり、その中から日本一が選ばれました。

T-1 グランプリとは

この催しは、全日本漬物協同組合連合会が特別協力のもと行われている日本一の漬物の決定戦で今年で 4 回目を迎えます。個人の部と法人の部の 2 部門で争われます。また、たくあんに特化した Taku-1 グランプリも同時に行われています。



熱烈なアピールをするダイニチ食品の皆さん

愛知県のつけもの

県内からは法人の部で東海漬物（株）、（株）香味小夜子、ダイニチ食品（株）が中部代表として出品していました。中でもダイニチ食品（株）の作品「たまねぎの松前漬け」は地元の伝統野菜「愛知白早生」を使ったもので、同社の作品の独創性とともな地元の野菜を力強くアピールしていました。残念ながら今回の大会では中部代表からの受賞作品はありませんでした。

また、個人の部では名古屋市の柴田哲典さんが「どて玉」を出品されました。こちらもたまねぎを使った作品で、赤味噌を加え、名古屋らしさを前面に出した作品でした。こちらはサンシャインシティ賞を受賞されました。



どて玉

漬物大王「アイチタルオ」

イベント現場にはどこに行ってもゆるキャラがいて人気となっています。漬物のゆるキャラは少ないようで、今回のイベントには1体のゆるキャラが登場し、人々に囲まれていました。近づいてみるとそのゆるキャラは愛知県漬物協会の「漬物大王アイチタルオ(59才)」でした。都内のイベントで愛知県のゆるキャラはほとんど見ないのですが、こうした大きなイベントで「つけもの王国あいち」のPRに大活躍していました。



威風堂々の漬物大王「アイチタルオ」

最近の漬物の特徴

今回のイベントの審査委員長の全日本漬物協同組合連合会常任顧問で宇都宮大学名誉教授の前田安彦氏は講評の中で、「最近の漬物はバラエティある野菜を使ってサラダ感覚で食べるものや、料理の一品として使えるようなものまであり、非常に楽しめるものになっている」と、日本食に欠かせない漬物の重要性を話されていました。一般審査として参加していた消費者の皆さんも漬物のおいしさを再認識していました。

東海フラワーショウ2014が開催されました

平成26年1月25日(土)から26日(日)の2日間、東海市の東海市民体育館で、「東海フラワーショウ2014(以下、「ショウ」という)」が開催され、2日間で30,000人の来場者があり盛況でした。

ショウは、東海市花き園芸組合、東海市及びJAあいち知多で組織する東海フラワーショウ実行委員会が主催し、地元企業等の後援により開催され、今回で22回目となります。

会場では、東海市内の花き生産者や東海市農業センター等による工夫を凝らしたディスプレイ展示を始め、生け花や押し花の展示、フラワーコンテストなどとともに、農業改良普及課と東海市による園芸相談が行われました。また、来場者の一番のお目当てであるショウ恒例の即売会では、洋らんを始めとした多種多様な花が飛ぶように売られていました。

今回の目玉は、メインブース内に設けられた特別展示で、東海市で育成されている希少な洋らんを間近で見てもらえるように、一堂に集めて展示されていました。

その中でも、特に来場者の目を引いていたのが、花が猿の顔に見えるドラキュラ属シミア(シミアは「猿」という意味)の「モンキーオーキッド」でした。他にも、普段、目にする機会がない洋らんが展示されており、来場者の注目を集めていました。

【オンシジウム オブリザダムで装飾されたトンネル】【モンキーオーキッド】



「農業はチャンスだらけの成長産業」 と題した研修会が行われました

去る2月26日（水）に東京都中央区の地域活性化センターに於きまして、「東京在住
地方自治体職員研修交流事業」が行われました。今年度4回目の開催で、今回は株式
会社エムスクエア・ラボの加藤百合子社長を講師に、「農業はチャンスだらけの成長
産業」と題して研修会が一般財団法人地域
活性化センターの主催で開催されましたので紹介します。



研修会の様子

「地域活性化センターの概要」

地域活性化センターは、活力あふれ個性
豊かな地域社会を実現する
ため、ひとづくり、まちづ
くり等地域社会の活性化の
ための諸活動を支援し、地
域振興の推進に寄与するこ
とを目的として、昭和60
年10月に、全国の地方公
共団体と多くの民間企業が
会員となって設立された一
般財団法人（平成25年4
月）で、今回はその活動の
一環で行われました。

会場には、全国から東京

< 講師の略歴 >

加藤 百合子

株式会社 エムスクエア・ラボ代表取締役
設立 2009年（平成21年）10月1日

1998年 東京大学農学部卒業
1999年 イギリス Cranfield University 修士号取得（10か月）
1999年 New Jersey State Univ. NASAのプロジェクトに参加、ASAEより Paper Award 受賞
2001年 株式会社三共製作所 R&Dグループ所属（リーダー2年）
2007年 個人事業開業 主に産業用機械の開発に従事
2009年5～10月 「静岡農業ビジネス起業人育成講座」受講
2009年10月 株式会社エムスクエア・ラボ設立 念願の農業事業参入

現在

静岡県 食と農を支える豊かな暮らしづくり審議会 委員
静岡県 新成長戦略研究評価会 委員
菊川市茶業振興計画策定委員
農林水産省任命 ボランタリープランナー

に駐在する県職員、市町村職員で狭い会場ではありましたが用意した席が満席になる盛況ぶりで、このようなテーマに関する関心の高さが伺うことができました。

「講演の概要」

加藤社長は、株式会社エムスクエア・ラボを平成21年に立ち上げました。この会社の主な活動方針としては、技術立国日本。この半世紀日本は資源を輸入し優れた技術、製品を輸出することで経済発展と国際的な地位を築いている中、様々な要因で国際競争力の低下が懸念され、これまで日本が得意としてきた『ものづくり』分野の地位が脅かされるだけでなく、国の根幹・支える農業、教育の歪みが将来の日本へ及ぼす影響が心配されています。そんな状況の中、エムスクエア・ラボは独自の解析技術と新たなビジネス創造により、農工問わず『ものづくり』競争力を強化することで、より良い社会づくりへの貢献していくとのことでした。

< 具体的な事業領域 >

Syncfoods	食材流通を基礎としたコーディネーター
Vegiprovider	青果流通改革コーディネーター
Agri + Innovator	農業の価値創造コーディネーター

その活動の一環として、「農業イノベーター」の役割を果たし、「(「農業」×「Any」= HAPPYに)」という方程式通り、あらゆる業界と農業を掛け合わせることで「持続可能なHAPPYな社会を導く事業創造をしていくとのことでした。

まずは、生産者と小売、外食、食品加工業者等を結びつける(マッチング)の手助け(営業代行、現場管理代行)を行い、両者の間で情報と信頼を確保しつつ、ミスマッチの解消によるウインウインの関係構築の一助となるとのことでした。講師いわく、「農業にはさまざまなチャンスがある」とのことですので本県でもいち早くそれらチャンスを捉えていく必要を感じました。

平成25年度愛知県いちご品評会が開催されました

愛知県のいちご出荷量は全国第6位（平成24年産）で、県内各地でいちごの生産が行われています。

愛知県では、JAあいち経済連、愛知県いちご生産組合連合会と共催で、いちごの栽培技術や品質の向上と消費拡大を目的に、昭和63年から「愛知県いちご品評会」を開催しており、本年度で第26回を迎えました。

1 開催概要

ア 審査会（平成26年1月28日）

本年度は、あいち三河農業協同組合本店（岡崎市）を会場としました。今年のいちごは、夏季の高温や9月から10月の度重なる台風等の影響を受けており、出品数の減少が懸念されましたが、生産者及び関係者の協力により226点（昨年度は237点）が出品されました。

専門審査として、農業総合試験場及び卸売市場の担当者が糖度、外観、内容について、厳正に評価を行った結果、農林水産大臣賞には、堤昭人氏（田原市）の「章姫」が選ばれました。

また、いちごを洋菓子に利用しているパティシエ（一般社団法人愛知県洋菓子協会会員）による消費者審査では、消費者特別賞として太田齊氏（豊田市）の「ゆめのか」が選ばれました。

審査後の一般公開では、多くの生産者が会場を訪れ、審査結果や出品物を真剣に見つめる姿が見られました。

イ 消費宣伝会（1月28日、29日）

愛知のいちごをPRするため、毎年、出品物を活用した即売等の消費宣伝会を行っています。本年度は、品評会当日に行う開催地（岡崎市内量販店等）での即売に加えて、翌日（1月29日）名古屋市の金山総合駅連絡通路橋イベント広場で消費宣伝会を行いました。

名古屋会場では、審査会の結果及び農林水産大臣賞を受賞した堤氏のいちごを展示しましたが、「このいちごを売って欲しい」という消費者の申し出が多数ありました。仕事帰りとみられる若い女性や、男性の購入者も多く、幅広い層の消費者に愛知のいちごをPRする機会となりました。



消費宣伝会の展示（名古屋会場）

なお、岡崎会場、名古屋会場とも、即売品は短時間で売り切れる盛況ぶりです。消費者にとって魅力ある果物であることを改めて確認できました。

2 今後の展開方向

審査会と消費宣伝会は、いちごに込める生産者の思いと、いちごを買い求める消費者の思いをつなぐ取組となっています。愛知のいちごが消費者により身近な存在となるよう、今年度の結果を検討し、次年度以降に活かしていきます。

第63回関東東海花の展覧会の品評会における出品の概要について

平成26年1月31日(金)から2月2日(日)に開催されました第63回関東東海花の展覧会の品評会について、その審査が1月30日(木)に行われました。審査長として審査に当たりましたが、気がついたことを以下のとおりまとめました。

1 きく

冬期の寒さと燃油価格の高止まりにより、栽培には厳しい環境でしたが、加温不足による品質低下や病害の発生もあまり見られず、全体的に生産者の努力がうかがえる、優れた品質のものが出品されていました。

輪ギク、スプレーギクとも新しい品種の出品が少なく感じました。色物の満開咲き輪ギクの需要は増加傾向にありますので、今後多様な品種の出品を期待します。

2 ばら

品種としては、大輪化、花型の多様化が見られ、消費ニーズに対応した出品であり、概ね高品質のものでした。今回特に、フラワーデザインで要望のある、自然のやさしさを感じられる草姿のものも見られました。

3 カーネーション

輪とスプレーともに、ピンク系の花色の出品が多く見受けられましたが、緑やベージュといったその他の花色に分類されるものを多く見受けられ、多様な品種構成となっていました。

しかし、フラワーデザインで人気のある一重タイプの品種については、出品が少なく残念に感じました。

4 一般切花

夏の高温、その後の台風の襲来、冬の低温と厳しい栽培環境の中、花色、草姿等品質の良いものが多く見られ、生産者の努力と技術の高さがうかがわれました。

切り花全体を通じて、生産者の高齢化や燃油などのコストの増加、輸入切り花の増加により、作付面積、出荷量が減少気味となっておりますが、花形や花色は消費ニーズに合わせてバラエティ豊かなものになっていると感じました。

5 球根切花

オリエンタルユリ、アルストロメリアが多く出荷される中、チューリップなど出品数が減少した品目もあり、生産の増減を伺わせました。また、同一品目でも品種により、切花長やボリューム感は様々で、花色等もバラエティに富んでいました。

6 洋らん

切花と鉢物がほぼ同数出品され、品目としては、ファレノプシスやカトレアが多く出品されました。

花色の特徴としては、ファレノプシスは、白やピンクが中心ですが、ピンク系のグラデーションタイプや複色タイプなど多様になってきています。シンビジウムは、ピンク、黄色系が中心ですが、緑や茶色系も増えてきました。

7 観葉植物

消費動向を反映した出品傾向で、大鉢が減少し、小鉢が増加しています。また、燃油の高騰がその傾向を助長していると感じました。

業務需要が低迷する中で、ホームユースに向けた生産にシフトしてきており、特に消費地に近いこの地域では、インテリア性の高い商品が増えてきています。今回も、テーブルの上で観賞できるガラス容器入りハイドロ観葉、多肉植物を使ったコケ玉、コケドームなど新しいアイデアの出品も注目されました。

8 枝物

枝折物は、ハナモモ、サンシュユ、サクラ等が花付きの良い枝を高い技術で枝折られて出品されていきました。束物は、風格のあるボケやボリューム感のあるコデマリや、ボリューム感と揃いのバランスのとれたヒバ類の出品が目を引きました。

注目された品目として、アカシアの出品が見られました。アカシアは、近年人気の高い品目で、水揚げの悪さなどの課題もありますが、今後の出品の増加が待たれます。

9 一般鉢物

非常に多くの品目の出品がありましたが、全体的に贈答用の大鉢から、消費拡大の期待が大きいホームユースに適した3～5号鉢の出品へ移りつつあります。また、寄せ植えの出品もあり、注目されました。

10 花苗

パンジー、ビオラ、プリムラ類で、全体の約半分を占める出品傾向は、例年と同様でしたが、大輪のパンジーが減少し、花数の多いビオラの出品が増えていきます。春に向けての品評会ですので、春を感じさせるような明るい配色の出品がさらに増えることを期待します。

全体としてレベルの高い品評会であったと考えております。今回はしなやかさが感じられる切り花やコンパクトな鉢花の出品が見られ、入賞も果たしました。このような従来とはやや異なる傾向は評価の多様性を担保する上でも好ましいことと考えております。品評会が開催される時期には、ランタンキュラス、チューリップなどの球根類やトルコギキョウなど、観賞性に優れた切り花が流通しています。今後はこのような品目の出品が増えることを期待しております。

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：ふき）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
25年実績	137	132 (97%)	259	258	岐阜 (3%)
26年見通し	122	-	240	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>県内で販売されるふきは愛知産がほとんどで、知多市、稲沢市を中心に入荷。2月の低温により生育が良くなく、伸びや太りが悪い。3L、2Lの太物が少ない。 入荷量は前年をかなり下回り、価格も前年をかなり下回る見込み。</p>			<p>品種は生育が良い愛知早稲と、耐病性が強い愛経2号。以前は愛知早稲が主力であったが、最近は愛経2号が増えている。 ふきは調理に手間もかかることから、消費量は徐々に減りつつある。食育や調理方法、美味しいメニューの紹介など、宣伝活動をして消費の拡大を図りたい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：ふき）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
25年実績	261	246 (94%)	292	289	群馬 (5%)
26年見通し	240	-	300	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>本県産の入荷が大部分を占める。2月上旬から促成ものに切り替わり3月は入荷が本格化する。寒さの影響で前年をやや下回る出荷の状態である。生育自体は順調であるものの、前年に比べ若干細目である。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>			<p>この時期、県産のふきは、春商材として、業務需要だけでなく量販店からの引き合いも強い。料理法など特に若い主婦層にむけてPRが重要となる。 本県産促成ふきは伝統的産地であり、柔らかく、味もおいしいことから市場評価が高い。引き続き、安定出荷と切り口の処理など品質保持をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し

名古屋市中央卸売市場

2月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%) (愛知産比率)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	21年	35,108	204	198	204	208	愛知 27%
	22年	35,111	213	209	217	214	北海道 21%
	23年	34,059	215	216	221	210	鹿児島 9%
	24年	33,245	247	254	253	239	兵庫 5%
	25年	36,244	179	195	187	166	
	5ヵ年平均	34,753	212	-	-	-	
	26年見通し	32,900	216	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、北海道からの入荷が中心となる。愛知の作柄は概ね良好。果菜類は気温の上昇とともに出荷量も増加し、売行きも良くなる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。							
だいこん	21年	1,698	81	74	76	92	静岡 29%
	22年	1,741	89	74	82	114	千葉 18%
	23年	1,749	85	81	88	87	徳島 18%
	24年	1,673	140	130	128	165	鹿児島 16%
	25年	1,692	75	88	76	68	
	5ヵ年平均	1,710	94	89	90	105	
	26年見通し	1,700	80	80	80	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
静岡、千葉、徳島、鹿児島等から入荷。静岡、徳島は3月上中旬で終了する。下旬になると千葉の春だいこんへ移行するが、天候の影響からやや出遅れている。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。							
にんじん	21年	2,432	120	120	122	119	愛知 53%
	22年	2,092	96	84	98	104	徳島 29%
	23年	2,058	184	148	179	225	鹿児島 11%
	24年	1,922	164	164	170	163	北海道 6%
	25年	2,002	144	135	143	159	
	5ヵ年平均	2,101	140	129	141	152	
	26年見通し	1,900	155	150	155	160	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知産が主力で、他に徳島の春にんじんが入荷。愛知は平年の8割作で、販売は3月中旬までとなる。徳島は9月の台風の影響があったが、現在は回復し順調な出荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

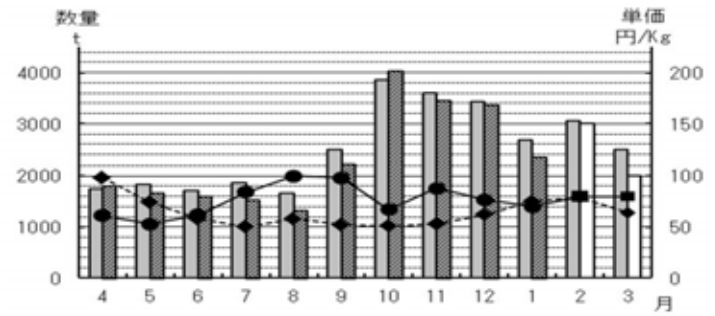
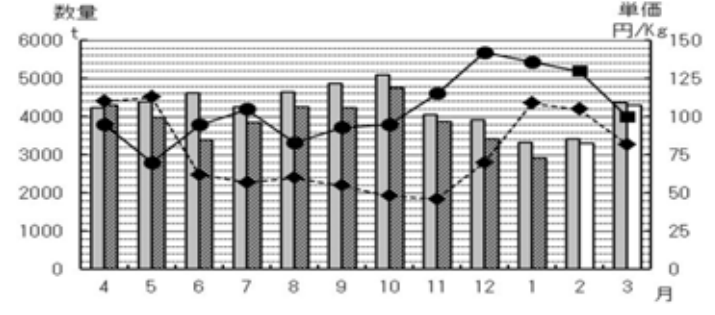
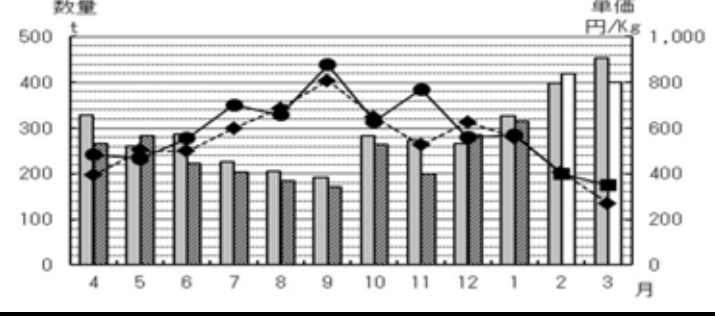
2月25日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	21年	128,245	236	231	238	240	千葉 16%
	22年	130,607	241	234	241	251	愛知 12%
	23年	128,893	219	228	232	199	北海道 12%
	24年	130,185	267	270	271	263	茨城 10%
	25年	134,607	206	222	205	193	(愛知産比率 12%)
	5ヵ年平均	130,507	234	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	128,000	230	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
前月に続き関東産地からの入荷が中心で、土物類は北海道からの入荷となる。各産地とも年明け中旬以降、気温も高めに推移し生育も順調となっていた時に関東を中心に2週連続の大雪に見舞われ今後の入荷量の予測は難しい。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
だいこん	21年	12,517	71	73	64	76	神奈川 60%
	22年	12,617	86	84	76	99	千葉 33%
	23年	12,881	79	82	86	71	鹿児島 2%
	24年	11,311	145	140	135	155	徳島 2%
	25年	12,945	73	92	74	57	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	12,454	90	94	87	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	12,800	100	95	105	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
前月に引き続き関東産地からの入荷がほとんどを占める。神奈川、千葉ともに低温、干ばつの影響でやや小ぶり、今回の降雪の影響は小さいとみているが、今後の天候次第のところもある。 入荷量は前年並を見込み、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。							
にんじん	21年	7,862	133	143	130	127	千葉 47%
	22年	8,086	94	89	89	104	徳島 24%
	23年	6,777	193	169	196	213	鹿児島 8%
	24年	7,187	150	149	155	147	埼玉 5%
	25年	6,785	154	150	153	159	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,339	143	148	145	150	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	6,700	160	155	160	165	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
前月に続き千葉を中心とした関東産地からの入荷が多く、徳島からの入荷も始まる。千葉は不作傾向のまま終盤を迎える。一方、徳島の生育は順調で推移している。 入荷量は前年並が見込まれ、価格は前年をやや上回る見込み。							

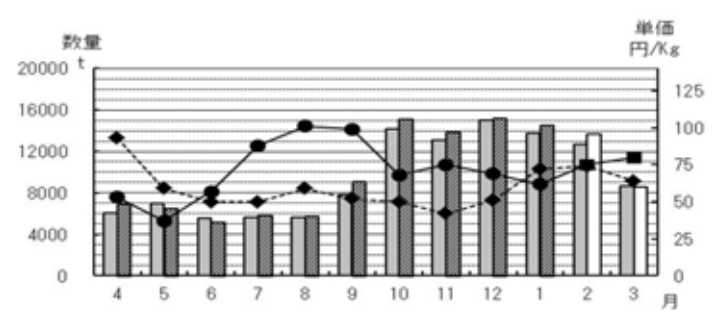
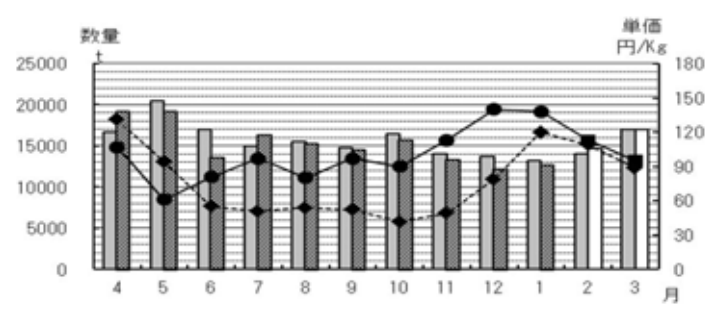
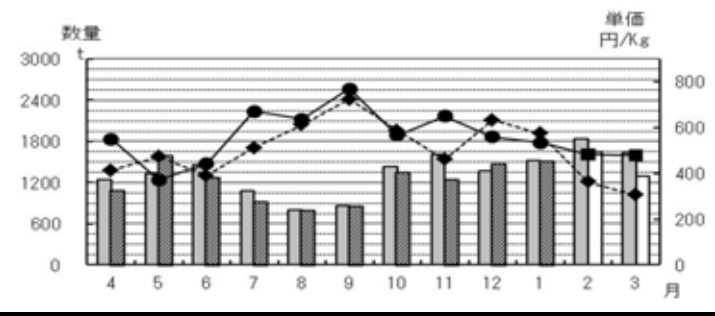
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	21年	2,096	103	92	106	111	兵庫 44%
	22年	2,281	77	67	78	86	愛知 22%
	23年	1,991	104	81	109	129	長崎 21%
	24年	2,071	124	115	146	121	熊本 5%
	25年	2,502	64	75	56	59	
さい	5カ年平均	2,188	93	85	97	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,000	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		愛知、兵庫、長崎からの入荷が中心。愛知は3月上旬で終了し、兵庫も上旬を過ぎると冷蔵に切り替わる。長崎は数量は昨年並みで、中旬頃から入荷される。量販店の取扱は年々減少し、加工中心の販売となっている。入荷量は多かった前年を大幅に下回り、単価は安かった前年を大幅に上回る見込み。					 <p>ほうきの数量と単価の推移。数量は4月～3月まで、単価は4月～3月まで。数量は10月頃にピークを迎え、単価は10月頃にピークを迎える。</p>
キャベツ	21年	3,869	85	77	83	93	愛知 96%
	22年	4,036	83	86	78	86	兵庫 2%
	23年	4,466	89	88	103	79	鹿児島 1%
	24年	4,731	104	96	108	112	熊本 1%
	25年	4,380	82	96	89	71	
べっ	5カ年平均	4,297	89	89	93	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,300	100	110	100	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		愛知からの入荷が中心で、次いで兵庫。各産地とも作柄は良好で、前年並みの出荷量となる見込み。入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に上回る見込み。					 <p>キャベツの数量と単価の推移。数量は4月～3月まで、単価は4月～3月まで。数量は10月頃にピークを迎え、単価は10月頃にピークを迎える。</p>
ほうれんそう	21年	378	345	272	371	410	愛知 83%
	22年	363	381	234	441	582	茨城 5%
	23年	392	272	191	346	305	群馬 4%
	24年	367	435	435	415	482	徳島 2%
	25年	454	270	380	211	261	
れん	5カ年平均	391	337	304	350	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	400	350	400	350	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		産地は愛知が中心。3月下旬から4月にかけて、作型が切り替わる。作況は例年並みで、順調に出荷される見込み。入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。					 <p>ほうれんそうの数量と単価の推移。数量は4月～3月まで、単価は4月～3月まで。数量は10月頃にピークを迎え、単価は10月頃にピークを迎える。</p>

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	21年	7,509	98	86	92	119	兵庫 38%
	22年	8,686	59	44	56	85	茨城 35%
	23年	8,889	96	76	110	106	群馬 14%
	24年	9,415	125	116	130	131	長崎 7%
	25年	8,659	64	68	57	65	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	8,632	89	78	89	101	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	8,600	80	80	80	80	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		茨城が入荷の中心となり、兵庫、群馬がそれに続く。茨城は小玉傾向ではあるが遅れていたものが出荷される。兵庫は貯蔵ものが中旬から始まるが関東市場へは計画通り安定した出荷が見込まれる。 入荷量は前年並で、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。					
キャベツ	21年	15,702	98	90	100	103	愛知 65%
	22年	16,757	97	96	92	104	千葉 18%
	23年	17,062	102	99	117	91	神奈川 13%
	24年	18,469	115	121	114	112	茨城 1%
	25年	17,008	89	99	90	81	(愛知産比率 65%)
	5ヵ年平均	17,000	100	101	103	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	17,000	95	95	95	95	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		前月に続き愛知と千葉、神奈川からの入荷が中心となる。愛知は概ね生育順調で平年並みの出荷が見込まれる。神奈川、千葉も降雪の影響も少なく平年並みの出荷となる。 入荷量は総体で前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。					
ほうろくそ	21年	1,498	402	409	393	403	茨城 28%
	22年	1,619	403	313	453	486	群馬 27%
	23年	1,383	358	310	430	367	千葉 19%
	24年	1,615	390	377	359	428	埼玉 18%
	25年	1,638	306	342	263	311	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,551	372	350	380	395	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,300	480	500	480	460	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		関東産地からの入荷がほとんどを占める。先般の降雪の影響を大きく受け、施設等の倒壊被害もあり、各産地とも出荷量は大幅に少なくなる。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。					

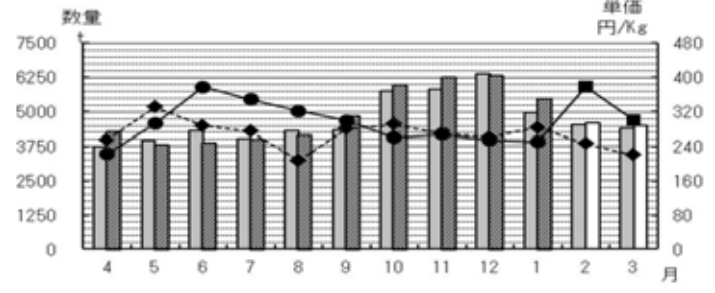
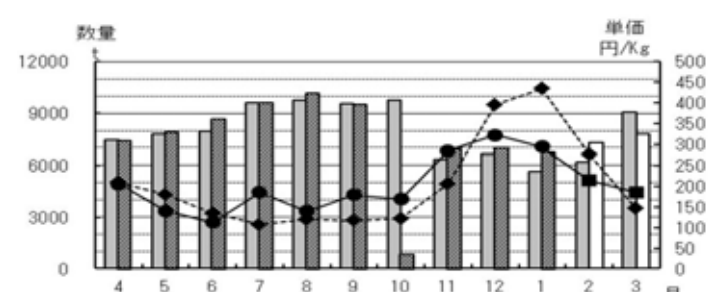
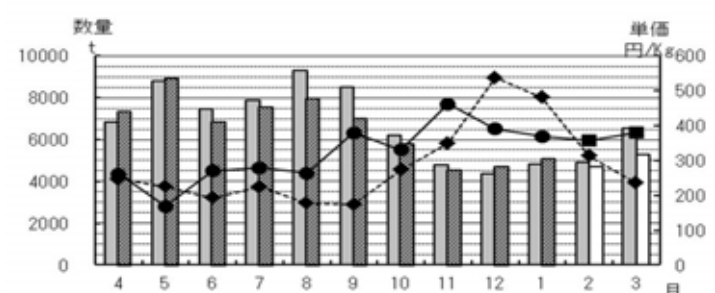
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	21年	962	283	303	277	269	愛知 25%
	22年	905	344	329	364	333	大分 19%
	23年	931	343	366	338	323	静岡 14%
	24年	891	397	415	411	388	鳥取 9%
	25年	909	280	327	277	261	
ぎ	5ヵ年平均	920	329	347	332	314	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	900	320	310	320	330	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		愛知の長ねぎと、大分、静岡、鳥取の白ねぎが中心。大分は安定出荷、静岡は太もの、2L中心で安定した作柄となっている。鳥取は作況が悪く、出荷量は昨年を下回る見込み。 入荷量は前年並み、価格は前年をかなり上回る見込み。					
し た す	21年	1,632	225	210	225	236	兵庫 38%
	22年	1,772	232	206	220	277	茨城 29%
	23年	1,503	193	186	202	191	熊本 11%
	24年	1,461	323	370	314	297	静岡 10%
	25年	1,977	160	191	159	136	
ス	5ヵ年平均	1,669	222	228	220	224	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,900	180	200	180	160	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		兵庫、茨城からの入荷が中心となる。3月上旬までは茨城産が増加し、中旬以降にピークを迎える。兵庫は上中旬にかけて冬ものから春ものに転換する。静岡は中旬頃から終了に向かう。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。					
き ゆ う り	21年	1,349	369	511	385	275	愛知 55%
	22年	1,298	376	362	484	302	宮崎 16%
	23年	2,316	221	166	233	276	高知 15%
	24年	1,234	419	446	532	351	鹿児島 9%
	25年	1,558	216	271	214	213	
り	5ヵ年平均	1,551	303	324	345	279	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,530	280	300	280	250	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知が中心で他に高知、宮崎、群馬。作柄は順調で、後半の気温の上昇とともに出荷量も増加してくる見込み。 入荷量は前年並みで、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	21年	4,829	183	215	160	170	千葉 48%
	22年	4,434	317	317	329	301	埼玉 24%
	23年	4,285	285	313	323	221	茨城 9%
	24年	4,532	330	369	367	276	群馬 8%
	25年	4,392	220	257	214	189	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,494	266	296	279	231	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,500	300	300	300		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。茨城は降雪の影響もなく前年並みの出荷が見込まれる。千葉、埼玉は、降雪の影響で収穫作業の遅れがある。 総体で入荷量は少なめであった前年をわずかに上回り、価格は安値の前年を大幅に上回る見込み。</p>					
							
しそ	21年	7,166	208	202	211	210	茨城 43%
	22年	8,009	207	186	194	249	静岡 21%
	23年	7,668	160	171	173	135	香川 9%
	24年	7,340	291	328	269	275	兵庫 6%
	25年	9,065	146	185	143	114	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	7,850	200	214	198	197	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	7,800	185	185	185		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、香川に代わり、茨城からの入荷が本格化してくる。茨城は降雪の影響も若干あったが回復、3月は順調な出荷が見込まれる。静岡、香川、兵庫は概ね順調にきており平年並みの出荷となる。 総体の入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は安値の前年を大幅に上回る見込み。</p>					
							
きゅうり	21年	5,806	398	542	396	311	群馬 23%
	22年	5,780	392	388	488	313	千葉 18%
	23年	6,230	234	296	260	163	宮崎 18%
	24年	5,491	426	454	535	426	埼玉 17%
	25年	6,535	235	276	225	213	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	5,968	332	391	381	285	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	5,300	380	380	380		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心で、宮崎からも入荷する。宮崎を中心とした西南暖地産は生育はおおむね順調。関東産地は、群馬、埼玉を中心に降雪の被害が大きい。 入荷量は前年を大幅に下回る見込みで、価格は安値の前年を大幅に上回る見込み。</p>					
							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	21年	638	360	351	387	351	熊本 50% 愛知 45% 高知 5% 鹿児島 0%
	22年	719	330	312	339	337	
	23年	829	309	341	324	280	
	24年	607	377	371	388	378	
	25年	709	296	333	290	280	
	5ヵ年平均	700	332	340	343	322	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	700	330	350	330	320		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>愛知、熊本からの入荷が中心。各産地とも生育は概ね良好。重油の高騰や作付け面積の減少などの問題はあるが、出荷量は平年並みとなる見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
マ	21年	1,007	419	415	446	407	熊本 49% 愛知 29% 三重 12% 岐阜 6%
	22年	1,022	389	349	396	423	
	23年	1,222	299	318	305	278	
	24年	1,053	501	503	503	504	
	25年	1,094	392	447	386	362	
	5ヵ年平均	1,079	397	404	404	391	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	1,070	360	330	360	400		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>愛知、熊本からの入荷が中心となる。各産地とも生育は順調だが、重油高でハウスの設定温度が低いため、気温の上昇とともに日照量が増えれば出荷量も増加してくる見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ	21年	227	791	821	925	694	熊本 53% 愛知 32% 和歌山 11%
	22年	293	695	695	715	679	
	23年	315	595	668	597	542	
	24年	294	825	942	850	731	
	25年	373	707	759	695	656	
	5ヵ年平均	300	717	773	743	657	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	320	700	750	700	650		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>熊本、愛知からの入荷が中心。重油高の影響もあり、年明けから3月は数量が少ないが、気温の上昇とともに売行きも良くなる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	21年	2,717	418	425	440	400	高知 60%
	22年	2,596	402	367	421	417	福岡 17%
	23年	2,933	352	407	370	299	熊本 8%
	24年	2,443	446	420	466	452	佐賀 6%
	25年	2,914	353	394	344	332	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	2,721	392	403	408	380	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,700	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に引き続き西南暖地からの入荷が中心となる。各産地とも生育は概ね順調で平年並みの出荷が見込まれる。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は比較的安値であった前年をかなり上回る見込み。</p>					
<p>前月に引き続き西南暖地からの入荷が中心となる。各産地とも生育は概ね順調で平年並みの出荷が見込まれる。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は比較的安値であった前年をかなり上回る見込み。</p>							
ト マ ト	21年	5,052	478	473	493	473	熊本 26%
	22年	5,487	440	405	450	463	栃木 23%
	23年	6,167	322	356	348	270	愛知 12%
	24年	5,445	544	544	549	541	福岡 6%
	25年	6,437	413	471	411	376	(愛知産比率 12%)
	5ヵ年平均	5,718	435	450	450	424	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	5,800	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き熊本、栃木、愛知からの入荷が中心となる。現況、熊本は曇雨天の影響で遅れがある。栃木は降雪の影響で被害は大きい。愛知、福岡は前年並の出荷が期待できる。 総体入荷量は関東産の降雪被害もある中で前年をかなり下回る見込みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
<p>前月に続き熊本、栃木、愛知からの入荷が中心となる。現況、熊本は曇雨天の影響で遅れがある。栃木は降雪の影響で被害は大きい。愛知、福岡は前年並の出荷が期待できる。 総体入荷量は関東産の降雪被害もある中で前年をかなり下回る見込みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
ミ ニ ト マ ト	21年	910	786	848	945	659	熊本 32%
	22年	1,092	690	700	720	406	愛知 24%
	23年	1,237	531	631	558	422	宮崎 15%
	24年	1,181	859	1,011	896	733	千葉 9%
	25年	1,509	656	732	649	600	(愛知産比率 25%)
	5ヵ年平均	1,186	697	784	754	564	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,200	700	700	700	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き愛知、熊本からの入荷が中心となる。本県産は3月に入ると量も増えてくる。生育は概ね順調で平年並みの出荷が見込まれる。熊本も生育順調。 全体入荷量は多かった前年を大幅に下回るものの平年並みとなる。価格は安かった前年をかなり上回る見込みである。</p>					
<p>前月に続き愛知、熊本からの入荷が中心となる。本県産は3月に入ると量も増えてくる。生育は概ね順調で平年並みの出荷が見込まれる。熊本も生育順調。 全体入荷量は多かった前年を大幅に下回るものの平年並みとなる。価格は安かった前年をかなり上回る見込みである。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	21年	371	802	782	846	788	鹿児島 41%
	22年	398	741	716	880	641	宮崎 40%
	23年	499	545	594	588	483	高知 17%
	24年	385	810	832	845	707	茨城 2%
	25年	530	505	643	581	398	
マン	5カ年平均	436	661	702	729	582	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	490	600	700	600	500	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		鹿児島、宮崎、高知など西南暖地からの入荷が中心。各県とも作柄は順調。3月後半になれば、気温の上昇とともに出荷量も増加する見込み。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。					
ばれいしょ	21年	3,812	131	127	143	126	鹿児島 62%
	22年	3,467	161	160	167	156	北海道 37%
	23年	2,786	232	201	225	258	長崎 1%
	24年	2,716	164	155	168	170	
	25年	2,975	100	114	97	91	
いしょ	5カ年平均	3,151	155	150	158	157	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,900	140	130	140	150	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		鹿児島、北海道からの入荷が中心。鹿児島の内地産は2月末で終了し、離島物が出荷される。春一番の生育は順調。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。					
たまねぎ	21年	5,969	83	83	78	86	北海道 84%
	22年	6,309	109	115	117	97	静岡 12%
	23年	5,422	120	126	132	106	愛知 2%
	24年	5,163	101	106	104	105	宮崎 0%
	25年	6,849	85	95	94	87	
ねぎ	5カ年平均	5,942	99	104	104	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	5,300	120	120	120	120	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は北海道の貯蔵物と、新玉ねぎの静岡、愛知が中心。北海道からは平年よりかなり入荷量は少なくなる見込み。新玉ねぎは平年より3、4週早くピークがきているが、正品率は良い。 入荷量は多かった前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	21年	1,461	811	847	852	755	茨城 39%
	22年	1,452	732	719	873	609	宮崎 28%
	23年	1,734	516	598	609	375	高知 18%
	24年	1,311	799	861	904	690	鹿児島 13%
	25年	1,766	500	629	549	374	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	1,545	657	731	757	561	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,700	500	500	500	500	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		西南暖地からの入荷に加え、茨城からの入荷が増える。茨城は平年並みの出荷を見込むが降雪による影響も考えられる。西南暖地はシーズン後半だが、生育上、問題なく作柄良好で多かった前年並み出荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並が見込まれる。					
ばれいしょ	21年	8,989	123	116	130	124	北海道 55%
	22年	8,464	156	152	159	156	鹿児島 40%
	23年	8,884	191	172	189	207	長崎 4%
	24年	9,152	138	132	140	143	(愛知産比率 0%)
	25年	8,914	92	94	95	89	
いしょ	5カ年平均	8,881	140	133	143	144	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	8,800	110	110	110	110	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道からの入荷が中心となる。北海道は計画出荷の終盤であるが、貯蔵量は少なく鹿児島の生産減もあり少なめの出荷となる。 全体の入荷量は少なかった前年並で、価格は前年を大幅に上回る見込み。					
たまねぎ	21年	11,059	99	92	98	105	北海道 72%
	22年	9,818	142	144	142	141	静岡 15%
	23年	10,865	139	142	140	136	長崎 5%
	24年	11,300	108	108	108	108	佐賀 4%
	25年	11,559	98	101	96	96	(愛知産比率 1%)
ねぎ	5カ年平均	10,920	116	119	117	117	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	10,000	140	140	140	140	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道からの入荷が中心で、静岡からの入荷が増加してくる。北海道は計画出荷の終盤に近づいている。不作で在庫も少ない状況である。静岡は作柄は良好で玉伸びも順調。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	21年	10,735	320	315	316	333	青森 21%
	22年	10,401	319	322	318	321	フィリピン 17%
	23年	9,191	353	312	317	330	愛媛 10%
	24年	8,472	398	356	364	344	愛知 10%
	25年	8,998	344	400	389	391	
	5ヵ年平均	9,559	344	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	8,400	350	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は青森、愛知、愛媛。いちご、りんご、かんきつなどが入荷。愛媛のキウイは生産者の高齢化もあり、品種の変化等はなく、 Hayward がほとんど。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					
り ん ご	21年	2,142	223	225	216	226	青森 97%
	22年	1,766	257	261	258	251	秋田 2%
	23年	1,833	244	242	244	245	長野 1%
	24年	1,323	395	397	401	386	
	25年	1,956	251	249	254	249	
	5ヵ年平均	1,804	265	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,600	270	270	270	270	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>ほとんどが青森からの入荷となる。売場がいちごメインに移行していく中での販売となるが、引き合いはそこそこある見込み。 ただ多かった昨年と比べると、入荷量は大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
い ち ご	21年	1,393	921	1,036	1,034	770	愛知 58%
	22年	1,283	965	951	1,037	910	熊本 22%
	23年	1,428	885	903	975	804	鹿児島 6%
	24年	1,190	1,105	1,246	1,169	964	佐賀 5%
	25年	1,317	949	1,050	917	885	
	5ヵ年平均	1,322	960	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,300	950	950	950	950	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本からの入荷が中心となる。各産地とも順調な出荷が見込まれ、平年並みの数量となる見込み。3月上旬は2番果、3番果のピークを迎える。 入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	21年	38,540	349	351	349	青森 20%	
	22年	39,373	326	315	329	愛媛 16%	
	23年	32,381	365	394	362	フィリピン 9%	
	24年	33,312	418	416	422	静岡 8%	
	25年	33,492	374	385	382	(愛知産比率 1%)	
	5カ年平均 26年見通し	35,420 32,500	365 400	- -	- -	- -	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>りんご、中晩柑、いちご中心に入荷する。みかん類は終盤となる。中晩柑の「不知火」は熊本、愛媛から入荷する。玉肥大良く順調。「清見」は愛媛、和歌山から入荷。作柄も良くL・2Lサイズが中心となる。総入荷量は前年をやや下回り、価格はかなり上回ると見込まれる。</p>					
りんご	21年	7,907	216	210	218	219	青森 98%
	22年	7,230	238	234	240	238	長野 1%
	23年	7,659	225	223	231	221	秋田 0%
	24年	5,048	376	370	381	379	山形 0%
	25年	6,825	236	236	239	232	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均 26年見通し	6,934 5,500	250 320	246 320	253 320	249 320	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森から「ふじ」のCA貯蔵もの中心に入荷する。「ふじ」は産地の在庫は前年の8割程度、40玉中心で味の揃いは良い。「王林」の産地貯蔵は前年の80%ほどで中心サイズは36・40玉。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
いちご	21年	5,368	1,015	1,189	1,071	866	栃木 36%
	22年	4,696	1,024	1,018	1,150	918	福岡 18%
	23年	5,245	874	970	937	739	茨城 13%
	24年	4,943	1,109	1,228	1,165	1,001	佐賀 10%
	25年	5,529	969	1,108	955	871	(愛知産比率 3%)
	5カ年平均 26年見通し	5,156 5,400	996 1,050	1,103 1,200	1,051 1,050	877 980	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木中心に福岡、佐賀等から入荷する。各産地共に2・3番果が連続しており順調な入荷が見込まれる。栃木は、大雪の影響で多数ハウスが倒壊しており1割ほどの入荷減になりそう。福岡は天候が良くなれば一気に増量してくる。佐賀は順調な出荷が続く。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回るものと見込まれる。</p>					

切花・鉢花の3月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 2月28日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	21年	3,024	63	
		22年	3,023	63	
		23年	2,537	47	
		24年	1,944	45	
		25年	2,089	54	
	5ヶ年平均	2,523	55		
26年見通し	2,000	55			
概要	愛知、三重、沖縄等から入荷。2月が低温傾向にあり、やや遅れ目の感はあるが、生育は順調。物日に向け出荷は増えてくる。3月を通して色物は昨年並み、白はやや少なめかと思われる。				
小 ぎ	実 績	21年	2,742	35	
		22年	2,669	34	
		23年	2,498	35	
		24年	2,440	33	
		25年	2,774	21	
	5ヶ年平均	2,625	31		
26年見通し	2,500	33			
概要	沖縄中心の入荷。昨年は過剰な出荷で、相場を崩すこととなったが、今年の作付けは減少し、平年作となっている。需要期に向け増加してくるが、2月は落ち着いた出荷となっており、ダブつき感はないため、堅調な動きが見込まれる。				
カ ー ネ ー シ ョ ン	実 績	21年	1,462	47	
		22年	1,348	47	
		23年	1,636	31	
		24年	1,467	46	
		25年	1,632	34	
	5ヶ年平均	1,509	41		
26年見通し	1,550	40			
概要	愛知、和歌山、長野等から入荷。燃油高で抑え気味となっているが、気温の上昇とともに、抑制物が出てくる。昨年のような沖縄産小菊の集中出荷で花の単価の崩れが起こらない限り、輸入物の出荷もシビアであるため、価格は通常の動きが見込まれる。				
か す み	実 績	21年	309	67	
		22年	275	74	
		23年	205	70	
		24年	205	91	
		25年	231	73	
	5ヶ年平均	245	74		
26年見通し	230	75			
概要	高知、和歌山、熊本からの入荷。前半は少なめの入荷で、中旬から増加してくる。業務に加え、一般需要もあり、相場は強めの動きとなる。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	21年	386	188	
		22年	322	212	
		23年	376	160	
		24年	325	215	
		25年	386	154	
	5ヶ年平均		359	184	
	26年見通し		360	180	
概要	OHは高知、愛知、埼玉、岐阜、静岡などから入荷。2月までは少なめの入荷であったが、3月は前半から前年以上の入荷が見込まれる。鉄砲は寒さのため、九州産が遅れ気味なのと価格安から出荷は少なめ。LAは埼玉が2月の豪雪により被害を受け、かなり少ない入荷となる。ゆり全体での入荷は少なく、高単価の動きであろう。				
洋らん	実績	21年	385	89	
		22年	311	111	
		23年	472	64	
		24年	438	97	
		25年	533	64	
	5ヶ年平均		428	82	
	26年見通し		500	80	
概要	徳島、愛知、高知を中心に輸入物が入荷。気温も徐々に上がるため、入荷量が増加すると予想される。入荷バランスにより単価が左右されそう。				
ばら	実績	21年	1,007	94	
		22年	937	108	
		23年	943	94	
		24年	882	97	
		25年	937	88	
	5ヶ年平均		941	96	
	26年見通し		950	90	
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山を中心に入荷。3月前半の卒業需要から後半の迎会等の需要など引合いは強くなる。中旬以降は高冷地の出荷も始まり、県内産も1、2月の日照量により芽吹きが良くなっているため、潤沢な入荷の見込み。				
枝も	実績	21年	1,529	46	
		22年	1,543	46	
		23年	1,823	41	
		24年	1,944	45	
		25年	1,861	44	
	5ヶ年平均		1,740	44	
	26年見通し		1,900	44	
概要	静岡、長野中心にコデマリ、桜等の促成物が入荷。卒業式、彼岸等の需要で引合いは強い。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラダ	実績	21年	10,378	580	
		22年	8,571	465	
		23年	12,988	357	
		24年	6,311	424	
		25年	11,932	349	
	5ヶ年平均		10,036	428	
	26年見通し		11,000	345	
概要	<p>入荷量は昨年並に比べ、球根の入りが多く若干減少か。昨年同様5号以下のサイズがメイン。6号以上は若干の入荷となる見込み。 昨年3月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(71.3%)、2位長野県(20.5%)、3位埼玉県(8.2%)となっている。</p>				
ファレノブシ	実績	21年	34,247	3,155	
		22年	37,098	3,011	
		23年	46,318	2,268	
		24年	38,337	3,231	
		25年	32,374	3,245	
	5ヶ年平均		37,675	2,939	
	26年見通し		32,000	3,281	
概要	<p>入荷量は減少か。生産終了や作付け減などの影響もあり、少なくなる見込み。昨年同様に3月上旬と下旬は売れるので、出荷をまとめていただきたい。 昨年3月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(60.1%)、2位宮崎県(5.8%)、3位静岡県(4.7%)となっている。</p>				
バラ及びミニバラ	実績	21年	95,017	217	
		22年	98,165	244	
		23年	100,364	202	
		24年	86,634	226	
		25年	71,652	256	
	5ヶ年平均		90,366	228	
	26年見通し		71,000	254	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。これからの気温次第では咲き前が気になるところ。昨年同様、中～大輪系の品種に人気集中しそう。特に香りの良い品種も人気が出る見込み。 昨年3月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(47.3%)、2位岐阜県(47.0%)、3位愛媛県(3.1%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	21年	76,721	217	
		22年	95,412	222	
		23年	88,513	212	
		24年	97,785	246	
		25年	86,502	234	
	5ヶ年平均		88,987	227	
	26年見通し		86,000	233	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。価格は高値が出辛く、安値～中値で推移する見込み。 昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(32.4%)、2位奈良(21.9%)、3位埼玉(14.9%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	21年	100,148	123	
		22年	84,455	142	
		23年	102,357	122	
		24年	78,151	144	
		25年	84,652	156	
	5ヶ年平均		89,953	136	
	26年見通し		84,000	155	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。気温の上昇にもよるが、1、2月の開花遅れから商品は潤沢にありそう。イベント絡みの引き合いで前半に強く、後半になるほど市況は弱くなっていくだろう。 昨年3月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(24.2%)、2位静岡県(21.8%)、3位埼玉県(21.3%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	21年	47,287	711	
		22年	45,928	707	
		23年	38,368	582	
		24年	35,856	752	
		25年	32,692	723	
	5ヶ年平均		40,026	695	
	26年見通し		32,000	719	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。昨今の重油代増価により暖房が焚けておらず、1～2月出荷予定の物がずれ込んできていたり生産終了も影響する。売店からは花固めが希望されるので、出荷時にはあわせてお願いしたい。 昨年3月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(53.7%)、2位岡山県(15.2%)、3位高知県(13.4%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2013年)

1 輸入実績

品名	1 2 月						1 2 月 まで の 累 計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	91,209	134	10,335,837	130	113	98	791,471	99	95,403,924	78	121	79
トマト	841	125	382,291	125	455	100	8,629	150	3,374,136	169	391	113
たまねぎ	36,632	168	1,877,969	151	51	90	302,225	94	16,614,816	125	55	133
にんにく	1,694	108	273,676	94	162	87	18,527	101	3,406,287	122	184	121
ねぎ	4,814	104	608,517	140	126	135	54,800	115	6,255,155	116	114	101
ブロッコリー	2,930	71	616,424	86	210	121	36,114	79	7,235,662	107	200	135
結球キャベツ	6,315	496	279,977	754	44	152	30,676	94	1,217,859	102	40	109
にんじん・かぶ	9,555	187	581,871	328	61	176	82,423	106	4,586,904	128	56	120
ごぼう	4,438	110	379,454	220	86	200	40,683	92	2,576,268	118	63	128
えんどう	239	91	97,874	114	409	125	1,866	80	676,479	83	362	104
アスパラガス	921	98	835,775	119	908	121	11,266	79	7,107,429	102	631	130
まつたけ	2	5	6,429	8	4,196	161	1,222	87	5,840,850	105	4,781	121
しいたけ	758	84	281,192	107	371	126	3,831	104	1,377,433	115	360	110
かぼちゃ	13,380	82	1,246,469	95	93	115	105,312	97	8,289,144	115	79	119
果実(生鮮・乾燥)	127,320	101	20,908,281	137	164	136	1,787,792	98	262,404,926	121	147	123
バナナ	70,035	99	5,395,835	126	77	127	975,107	96	79,588,037	120	82	125
パイナップル	16,087	107	1,161,859	132	72	123	181,178	114	11,486,121	121	63	106
レモン	3,759	137	761,214	241	203	176	49,226	96	7,412,955	133	151	138
オレンジ	4,290	116	573,632	140	134	120	111,886	88	12,462,753	102	111	116
グレープフルーツ	9,930	79	1,297,130	99	131	126	127,301	92	12,817,563	104	101	113
メロン	1,869	96	210,043	110	112	114	32,729	118	3,474,785	126	106	106
ぶどう	1,906	148	631,102	159	331	108	22,759	113	6,006,217	135	264	119
キウイ	915	1416	1,002,279	7327	1,095	517	58,749	92	20,446,581	93	348	102
いちご	82	61	84,476	73	1,030	119	3,514	104	3,376,212	122	961	117
切花(生鮮・乾燥)	5,299	94	4,358,964	105	823	111	46,702	112	37,474,228	122	802	109
鳥獣肉類	146,671	117	70,801,318	124	483	105	1,792,353	107	845,794,177	117	472	110
牛肉(くず肉含む)	38,977	107	21,243,406	130	545	122	535,495	112	266,843,677	131	498	117
豚肉(くず肉含む)	63,037	106	33,364,048	107	529	101	738,455	103	389,734,978	103	528	101
鶏肉	35,957	156	9,203,102	176	256	113	414,243	103	109,526,496	122	264	119
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	161,687	99	110,194,632	124	682	125	1,704,793	101	1,055,913,656	111	619	110
まぐろ類	18,413	125	20,886	0	1	0	205,799	103	153,848,196	92	748	90
さば・さんま・あじ・いわし	25,218	112	6,022,452	152	239	136	86,638	122	18,422,229	137	213	112

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	6,783	224	2,862,222	338	422	151	26,782	245	10,664,852	246	398	101
うんしゅうみかん	168	16	65,787	52	391	328	2,830	127	535,772	173	189	136
りんご	6,254	366	2,521,426	427	403	117	19,431	349	7,160,182	341	368	98
なし	104	159	56,121	165	537	104	1,246	128	616,078	132	494	103
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	470,173	242	-	-	-	-	3,256,229	148	-	-
緑茶	283	154	616,732	159	2,183	103	2,942	139	6,609,989	147	2,246	106

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 <small>（全国 平成22年 = 100）</small> <small>愛知県 平成22年 = 100</small>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25年 8月	100.3	92.3	101.5	99.5	103.3
	9月	100.6	102.9	94.6	100.0	107.9
	10月	100.7	103.3	92.5	100.3	105.0
	11月	100.8	103.9	96.7	100.7	104.9
	12月	100.9	105.4	104.9	101.3	106.7
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25年 8月	100.3	94.7	106.1	99.4	104.8
	9月	100.5	104.2	98.3	99.5	109.0
	10月	100.5	107.1	93.0	100.3	105.2
	11月	100.6	106.8	96.0	100.9	105.6
	12月	100.8	109.8	109.3	99.9	106.0

項目 年月		農業物価指数（平成22年 = 100）				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
22年平均	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25年 8月	97.1	111.9	82.4	91.3	108.8
	9月	102.9	106.0	107.8	78.8	110.2
	10月	96.2	102.7	91.9	71.7	110.6
	11月	107.2	102.0	115.7	97.8	113.7
	12月	109.5	102.5	118.9	109.3	116.5

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格（円）													
品目 単位 年月	うるち米 <small>（単一品種、 「コシ加」以外）</small>	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご（ふじ）
	5 kg	1 kg										100g	1kg
24年平均	2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年 8月	2,158	130	231	746	343	330	158	394	222	454	577	161	
9月	2,123	140	217	664	459	378	190	361	251	639	656	161	
10月	2,131	168	201	608	479	324	209	365	256	622	776	164	
11月	2,131	175	184	581	597	314	196	384	248	798	779	158	478
12月	2,107	217	194	705	655	303	175	413	267	661	765	190	503
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶（せん茶）	カーネーション	きく	バラ	豚肉（ロース）	牛肉（ロース）	まぐろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g	1 本	100g	100g	100g	100g
24年平均	582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年 8月		273	358		211	771	559	167	181	307	223	754	421
9月	638	262	385		204	803	557	162	171	316	229	808	420
10月	485	267	356		217	781	557	156	171	312	233	812	397
11月	488	272	352		214	751	522	159	183	332	227	851	393
12月	523	382	381	209	221	790	528	162	186	350	224	708	335

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 489
平成26年3月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421